

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

米軍ジェット燃料が爆発

日刊 勤労千葉

81.10.15
No.869

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五ノ六（公衆）四三三（二二）七二〇七

恐るべきミソの戦争の現実、怒りの反戦闘争を叩きつけよ！

10月13日正午すぎ、横浜市金沢区の米軍ジェット燃料基地にある約三万二千KLタンクが突然一大音響と共に爆発炎上するという重大事件が発生した。

これこそ日米安保、日帝の軍事大國化攻撃のまたらす戦慄すべき現実である。

ゆが勤労千葉は、三里塚ジェット闘争、軍事大國化、安保粉砕を闘う労働者の立場から、この爆発の責任が、今日、やみくもな戦争準備政策につづっている米軍、日本政府にあることを鮮明に指摘し、満腔の怒りをもって弾劾するものである。

更に、ゆがゆがは、ゆが勤労千葉の三里塚ジェット闘争、三月決戦ストライキが完全に正義のたたかいであることを、ますます固く確信する。ゆがゆがは、更に決意を新たに、三里塚軍事空港廃止、ジェット燃料輸送阻止、二期着工阻止、

止・反戦反安保の叫びの一層の高揚と前進をかちとっていくことを明らかにする。

轟音地へびきは、木更津、津田沼にまで！

この爆発は、更に恐るべきものである。「ズーン」という轟音が、遠く海をわたった千葉県木更津市周辺にまでもびびきゆたり、横浜全市は突如おどろいた。爆発に、空襲か？核爆発か？と一大パニックにたまたま込まれたという。現に、「ドシン」というかなり強い地面の揺れを同時刻に、職場で感じて、「地震かな？それだとしても地震の揺れ方としては少し変だなあ」と同僚と話合っていて、あとでニュースでこの爆発だと知ったという、津田沼支部の組合員の報告。

10.20、21反戦闘争に決起しよう！

もしこれがすぐ近くの24基、42万KLの巨大タンク群に誘爆を起したならば、市街地だったら……、タンク輸送中、駅構内、橋南區だったら……、想像を絶する大惨事は明らかではないか。米帝レーガンの戦争政

「メラメラともえる火焔は消火隊を寄せつけず噴煙は火山のごとく上空一キロメートルにも吹き上げ、黒煙が東京湾をおおった。基地周辺の民家のガラスは飛び散り、三千六百世帯、二万一千名に避難命令が出され、学校は休校となり、さながら戦場を想起させたと報じられている。現場近くに住む、浅田光輝は、事後的に、軍事大國化攻撃激化の中、この爆発事故のオニ、オニの発生は必然とまでであろう。今こそ、軍事大國化の道を、三里塚二期着工阻止、10.20、21反戦闘争の高揚で断ち切ろう！

10.20 18時 (東) 明治公園
主催 - 総評会
10.21 12時 (東) 明治公園
主催 - 人民共闘

米軍燃料タンク爆発

一万余人に警備出動

横浜四区間も燃え広がった



激しく燃える米海軍小柴貯油施設の燃料タンク=13日午後4時、横浜市金沢区で

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！